

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	～地域の命と暮らしを守るために～ 市民主体の防災力向上事業
事業主体 (連絡先)	市民ネットワーク 防災ちの 茅野市宮川茅野 4340-2(入倉方)
事業区分	(4)安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	405,520 円 (うち支援金: 324,000 円)

事業内容

災害が年々激甚化している、市民自らが防災・減災についての知識や技術等を学ぶ研修会開催。災害時に於いて、市内及び県内外におけるボランティア活動の際に着用する活動用メッシュベスト整備。

- ・市民力向上研修会開催
10月30日31日 ちの地区センター 延べ59名参加
- ・活動用メッシュベスト整備 30着



【研修会の様子】

【目標・ねらい】

- ①危機感や防災についての意識を共有できる仲間を増やす
- ②災害が発生した場合、ボランティア活動を実施する

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①支援金を活用し研修会を開催
1日目、災害ボランティアセンター立ち上げ講義・演習
2日目、避難所運営講義・演習
参加者からは実践を交えての研修のため、好評との意見
新会員3名入会(内防災士資格者2名)
- ②活動用メッシュベスト整備
9月に茅野市高部地区で大きな災害が有り、ボランティア参加した会員に配布、実際に活動に役立ててもらった事ができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・危機感や防災についての意識を共有できる仲間が増えた。
- ・メッシュベストを有効に活用できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

研修会等により知識を学ぶことが出来た。災害に強いまちづくりを目指し、更なる防災及び減災に関する知識や技術の習得のため、主として会員を対象とした隔月例会や一般公募による研修会、並びに関係機関等とのネットワークを構築するとともに、実地訓練を実施していきたい。具体的な活動内容については役員会・総会で協議決定していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある